

自己評価結果等の公表について

放課後等デイサービス「すこやか子ども教室」がオープンして2年が経過しようとしています。

この間、コロナ禍の中、利用児童の保護者の皆様はじめ、学校、地域、関係機関の皆様から温かいご支援ご協力をいただきました、あらためて感謝申し上げます。

さて、このたび令和2年度の自己評価等を実施しました。保護者からアンケート等のご協力をいただき「令和2年度放課後等デイサービス自己評価結果等(保護者向け・事業者向け)」がまとまりましたので、ここに公表します。

2回目の自己評価でしたが、保護者の皆様からたくさんのお褒め、励ましの言葉をはじめ貴重なご意見、ご要望をいただきました、今後の支援に活かして参ります。

また、自己評価結果を公表することで、皆様に安心してご利用いただける放デイとして、スタッフ一同、より良いサービスの提供を目指して参りますので一層のご支援をお願い申し上げます。

令和3年2月26日

すこやか子ども教室

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 3年 2月26日

事業所名 すこやか子ども教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		伸び伸びと活動できるようスペース等は確保しました。	運動できるスペースの活動内容を充実させます。
	2	職員の配置数は適切である	○		配置基準以上の職員を配置しています。	指導職員としてのレベルの向上を図ります。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		階段があるので、下り優先等のルール作りや声掛けをしています。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		スタッフ会議は全員が参加できる日を設定しています。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		一部アンケートを実施しました。	様々な項目について、アンケートを実施して参ります。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			「すこやかだより」等に個々の評価についても掲載して参ります。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○	他事業所等にアドバイスをいただいたりしています。	第三者に評価していただけるような制度を導入します。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		スタッフ会議で内部研修、外部の報告研修等実施しています。	内外の研修に積極的に参加できる体制づくりを進めます。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		定期的な保護者との面談、送迎時を利用したコミュニケーションに努めています。	保護者・関係機関との更なる連携を図って参ります。
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		主に利用開始時に利用している。子どもの必要な情報は職員間で共有しています。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		子どもの個性に合わせた個別活動と集団活動を取り入れたカリキュラムの作成に努めています。	長期休みには、子どもの社会性が身につくような見学や体験等カリキュラムに導入します。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		スタッフ会議や毎朝のミーティングで確認しています。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している		○	朝のミーティング時、前日の振り返り等、課題の共有をしています。	朝のミーティングの充実を図ります。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		療育日誌、ケース記録、連絡ノートに詳細に記載しています。	記録の重要性の研修を実施し、内容の充実を図ります。
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		定期的な見直し、日々の記録を大事にしています。		

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	○		個々の個性を大切にした支援に努めています。	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児発管、担当者が出席しています。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		機関紙の送付や送迎時に、先生との情報共有等、連携に努めています。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		○		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○		主に事業所の情報を提供いただいています。	必要なケースについては、保育園等の情報共有に努めます。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している		○		現在、対応児童はいません、今後の課題とします。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		専門機関の研修に積極的に参加しています。	専門機関とより一層の連携強化を図ります。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある		○		現在、交流等はありません。今後の必要性を含めて検討して参ります。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		主に児発管が出席しています。	
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		連絡ノートや送迎時に共通理解ができるよう連携を密に図っています。	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		必要な保護者に個別面談を行っています。	家庭療育に繋げられるよう職員研修を充実します。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		利用開始前に丁寧な説明に心掛けています。	利用中も説明に努めます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		悩み等に対して、真摯に、丁寧に対応しています。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している		○		保護者の意向に沿った会の設立に向け検討します。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		苦情があれば早急に対応内容について連絡ノート等を通じてお知らせしています。	苦情内容を保護者が共有できるよう機関紙にも掲載して参ります。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		毎月、機関紙「すこやかだより」を関係機関にも送付しています。	
	35	個人情報に十分注意している	○		管理規定に基づき実施しています。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		丁寧な対応に努めています。	

	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		どのような関係を築けばよいか、地域の情報収集に努めます。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各種マニュアルの内容について機関紙等に掲載し周知に努めます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		主に長期休みに防災研修等を実施しています。	避難訓練等も回数を増やし実施します。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止の研修機会を増やします。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		保護者と情報を共有し、事前に話し合い、必要な対応をしています。	必要性を検討し、マニュアルを整備します。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○		保護者からの情報を得て対応しています。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハット事案の記録に努めています。	

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 3年 3月10日

事業所名 すこやか子ども教室

保護者等数(児童数)13名 回収数13名 割合 100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いい え	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応	
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	13				広場等で楽しくのびのびと遊んでいます。	子ども達が活発に活動できるように努めます。	
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	10	1		2	スタッフの職種、資格等を知る機会がない。 名前と顔が一致しない。		
	3 事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	8		1		危険個所の解消に努めます。	
適切な 支援の 提供	4 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	11	1		1		ニーズを丁寧に聞き取り計画を作成して参ります。	
	5 活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	13						
	6 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	1	5	3	4		長期間の休み等で交流が可能か、必要性も含めて検討します。	
保護者 への 説明等	7 支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	12	1				丁寧な説明に努めてまいります	
	8 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	12		1		保護者の気づきに真摯に対応し、事実を把握して報告してほしい。	保護者の不安に真摯に対応し、連携を密にして共通理解に努めます。	
	9 保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	12	1			指導員の先生方との面談もあればいい。		
	10 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			5	4	4	悩みを共有する場が欲しい。そのような機会があればいい。お便りで知らせてもらっている。	ニーズを把握し、保護者会の設立を目指します。
	11 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	8	2		3	3	いつも子供の話を聞いていただき感謝。 もし苦情があれば教えてください。	連絡ノートで個別対応していますが、全体的な問題は、お知らせ等で周知して参ります。
	12 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	13						
	13 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	13					活動について、写真付きでとても分かりやすく様子が知れてうれしく思います。	今後とも努力して参ります。
14 個人情報に十分注意しているか	11				2			
非常時 等の 対応	15 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	8	2		3	3	防犯マニュアルが分かりません。	整備されたマニュアルについては機関紙等で周知を図ります。
	16 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	4	2	1	6	6	やっ和下さっているのだと思いますが…お知らせください。	訓練の内容も含めてお便り等でお知らせします。
満足 度	17 子どもは通所を楽しみにしているか	12	1			子ども同士のトラブルで渋ることがある。	子どもの気持ちに寄り添ってこれからも努力します。	
	18 事業所の支援に満足しているか	12	1			安心して通っています。問題解決のステップについて教えてください。	今後とも誠意をもって努力して参ります。	